

# ガイアグループ 36期CSR報告書

---

(2019年6月～2020年5月)



# トップメッセージ

## 「地域と共に」「お客様のために」「親切の心で」

1984年の創業以来、当社は企業理念に沿い、遊技業を通じて「ガイアらしさ」を追求すべく企業活動を行ってまいりました。今では130店舗以上のアミューズメント施設を経営するに至りましたこと、また37期を迎えられましたことは、当社が企業単体の自助努力のみでなし得たものでは、決してございません。当社を取り巻く全ての皆様のお引き立てによるものと厚く御礼申し上げます。

昨今、パチンコ業界は厳しい環境に置かれております。そのような中、自らの価値観や過去の成功事例に固執していても新たな発想は生まれません。すべてのお客様にご満足していただけるように、常に創意工夫する力で積極的な施策を展開し、地域ならびにお客様の豊かな生活づくりに貢献できるよう努めてまいります。

これまで当社は、創業以来さまざまな皆様に支えられてきました。このつながりをもっと太く強固にしたい。その思いを、実直に、ひたむきに取り組んできた結果が、当社のCSR活動に結びついていると考えております。この報告書にて、36期のCSR活動をご覧いただき、皆様に「ガイアらしさ」を感じていただければ幸いです。

今後も、「お客様」「地域社会」「環境」「お取引先様」「アミューズメント業界」「従業員」とのつながりを大切にし努力を重ねてまいります。

引き続き、ご支援、ご愛顧のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

代表取締役会長

良原 武夫

## ■CSR方針

当社の企業理念である「地域と共に」「お客様のために」「親切の心で」をモットーに、ガイアグループ全社員一人ひとりが、当社の行動規範に則り高い倫理観を持ち、ひとつひとつの問題に対して真摯に取り組む。それが、将来に亘り継続的に社会的責任を果たす『サステナブル企業』としての大切な役割であると考えております。

とりわけ私たちは、地域住民の一員として地域の皆様一人ひとりのお声に耳を傾け、率先して地域を支える企業であり続けたいと願っております。

また、CSRを通してステークホルダーの皆様とより良い関係を目指します。



## ■SDGsへの賛同

今後も、「地域社会に愛され必要とされるアミューズメント企業」を目指すべく、良き企業市民としての行動に努め、国連で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献できるよう、社会課題の解決に積極的に取り組んでまいります。

当社では以下の4つの目標を重要取り組み項目としております。





|                                                                                   |                |     |
|-----------------------------------------------------------------------------------|----------------|-----|
|  | トップメッセージ ..... | P1  |
|  | CSR方針 .....    | P2  |
|  | 社会と共に .....    | P4  |
|  | 従業員と共に .....   | P7  |
|  | 地域と共に .....    | P9  |
|  | 環境対策 .....     | P10 |

## 36期取り組み一覧

| SDGs                                                                                | 項目     | ページ   | 活動内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-------------------------------------------------------------------------------------|--------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | 社会と共に  | P4～P6 | <p>日本赤十字社 活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災・減災プロジェクト～私たちは、忘れない。～</li> <li>・献血サポーター</li> </ul> <p>認定NPO法人 難民を助ける会 活動支援</p> <p>社会福祉法人 中央共同募金会 活動支援</p> <p>ボランティアフォーラムへの特別協賛</p> <p>依存問題に対する姿勢</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安心パチンコ・パチスロアドバイザー</li> <li>・認定NPO法人 リカバリーサポート・ネットワークへの支援</li> <li>・認定NPO法人 ワンダーポートへの支援</li> </ul> |
|  | 従業員と共に | P7～P8 | <p>ダイバーシティ推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア支援／ワーク・ライフ・バランス支援</li> <li>・女性活躍推進</li> </ul> <p>ホスピタリティコンテスト</p> <p>障がい者雇用</p>                                                                                                                                                                                                                |
|  | 地域と共に  | P9    | <p>ビーチクリーン活動</p> <p>地域コミュニティへの参加</p> <p>福祉施設への寄贈</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|  | 環境対策   | P10   | <p>Fun to Shareへの賛同</p> <p>COOL BIZ／WARM BIZ</p> <p>風力発電／太陽光発電</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                          |



## ■日本赤十字社 活動支援

当社は、日本赤十字の使命である「わたしたちは、苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守ります。」に賛同し、2016年より日本赤十字社へ活動支援としての寄付を始めました。

活動支援金は、国内外の災害救護活動、社会福祉、血液事業、救急法の講習、赤十字病院の運営などに活用されています。

36期は、2020年1月29日に寄付を行い、社長感謝状をいただきました。

その他にも、日本赤十字社を通じた災害者支援のための義援金の寄付や、「防災・減災プロジェクト～私たちは、忘れない。～」、献血活動など、多岐にわたる取り組みに対し、参加協力しました。



## ■防災・減災プロジェクト～私たちは、忘れない。～

今もなお、被災地で苦しんでいる人々に思いを寄せるとともに、災害で得た教訓や経験を活かし、将来起こりうる災害に対応する力を、社会全体で育んでいく活動です。

当社は、日本赤十字社の活動支援のため、プロジェクトパートナーとして参加・協賛を行いました。

防災・減災プロジェクト  
～私たちは、忘れない。～



## ■献血サポーター

当社は「献血サポーター」として、日本赤十字社の献血推進活動を応援しています。

献血サポーターとは、医療に必要な血液を献血によって安定的に確保するために、献血に積極的に協力する企業・団体のことをいいます。

主な取り組みとして、店舗では年1回、本社では年2回、献血活動に参加しています。



## ■認定NPO法人 難民を助ける会(AAR Japan)活動支援

「認定NPO法人 難民を助ける会(AAR Japan)」は、インドシナ難民を支援するために、政治・思想・宗教に偏らない市民団体として1979年以降の活動実績を持ち、国連に公認・登録された国際NGO団体です。1997年には、「AAR」が主要メンバーである地雷禁止国際キャンペーン(ICBL)がノーベル平和賞を共同受賞しています。当社は、難民を助ける会(AAR Japan)の理念に賛同して、2016年より活動支援を実施しており、36期は2020年1月31日に寄付を行いました。





# 社会と共に

## 社会福祉法人 中央共同募金会 活動支援

当社は、2014年より47都道府県共同募金会の連合会である「中央共同募金会」に対し、活動支援のための寄付を継続しています。

〈36期実績〉

2019年 10月15日 被災地におけるボランティアへの活動支援金として寄付

2020年 2月28日 共同募金会への活動支援金として寄付

活動支援金は、障がい者の共同作業所の車両整備、社会福祉施設の改修、高齢者サロンの運営、点訳ボランティアなど、さまざまな民間の地域福祉活動に活用されています。



## 赤い羽根共同募金

2019年10月1日から12月31日を募金運動強化期間とし、全国の店舗にて募金活動を実施しました。

また、2020年1月には全社員が利用できるWeb募金を開設しました。

地域社会に貢献できるよう、今後も募金活動を行っていきます。



## ボランティアフォーラムへの特別協賛 (東京ボランティア・市民活動センター主催)

「市民社会をつくるボランティアフォーラムTOKYO」は、私たちの暮らしに関わるさまざまな社会問題に焦点をあて、それを共有し、私たち市民にできることを考えていくためのイベントとして、2004年から開催されています。

当社は、フォーラムの趣旨に賛同し、2015年より協賛しています。



## AED設置／普通救命講習の受講促進

当社は、ご来店いただくお客様や地域住民の皆様の安心のため、全店舗にAED（自動体外式除細動器）を設置しています。緊急時に正しい対処を行えるよう、店舗従業員に、救命講習の受講を促し、店舗責任者には受講を義務付けています。

(2020年5月末時点で840名受講済み)



## 従業員の声

### ～従業員へ救命講習の受講を積極的に呼びかけていきたい～

営業部 主任 杉崎

救命講習での経験が大きく左右しました

梅雨の時期の蒸し暑い朝でした。開店準備中に「店舗前に倒れている人がいる」とインカムにて報告がありました。店内や事務所にいた社員・スタッフが責任者の指示のもと役割を分担し対処しました。特に当日出勤していた社員の中に救命講習を受けている社員が複数名いたことが、救急への電話対応、濡れタオルや水分の準備、救命器具の準備など迅速に対処出来た要因だったと思います。

そしてその数日後「命に別状はなくまもなく退院される」と店舗に嬉しい連絡が入りました。

講習を受けることで満足をしないうちに

今までは救命講習を受けて証明書を受け取るだけになっていましたが、店舗での経験により、いざという時に生かせるようにと考えるようになりました。

昨年、店舗内でAEDを使用した救命措置を実施した際に冷静に対応できたのも、社員全員で講習を生かせるように備えてきた結果だと感じます。

今後も、救命講習などには積極的な参加を従業員に呼びかけていきたいと思っています。



# 社会と共に



## ■依存問題に対する姿勢

当社はパチンコ・スロットで余暇を楽しんでいただくアミューズメント企業として広く社会から受容されるためにも、のめり込みによる依存問題に関して、お客さまの自己責任に帰することなく真摯に向き合っております。

また、依存問題の解決に向けて活動を行っている団体への支援を今後も積極的に行ってまいります。

全日遊連からお客へ

パチンコ・パチスロは  
適度に楽しむ遊びです。



## ■社内の取り組み

安心パチンコ・パチスロアドバイザーの育成、社員研修での教育、アルバイトスタッフへの周知・教育に力を入れています。また、企業HPやチラシなどへの啓発標語の掲載、お客様へ向けた啓発ポスターの掲示など、お客様や社会への情報発信に努め、依存問題の解決へ取り組む団体への活動支援も行っています。



## ■安心パチンコ・パチスロアドバイザー

アドバイザー制度は、お客様に対して依存問題への適切な案内ができる担当者を各店舗に配置するもので、行政などが求めるパチンコ・パチスロ依存問題への対応強化策の取り組みです。当社は、1店舗あたり3名以上のアドバイザーを配置しております。

(2020年5月末で875名受講済み)



## ■自己申告プログラム

「自己申告プログラム」とは、利用ご希望のお客様ご自身で、1日の遊技の使用金額を申告していただき、設定値に達した場合に、その旨をお知らせして、お金の使いすぎを防ぎ、安全・安心遊技を系統的に担保する仕組みです。



## ■自己診断チェックツール

DSM-5の診断基準をパチンコ・パチスロ用に当てはめた「自己診断チェックツール」を店舗に設置しています。短時間で回答いただけるよう8つの設問で構成されており、診断の結果、ご不安な点がある方には専門の相談機関をご紹介します。



## ■認定NPO法人 リカバリーサポート・ネットワーク 活動支援

「認定NPO法人 リカバリーサポート・ネットワーク」は、パチンコ・パチスロの遊技に関する依存及び依存関連問題解決の支援を行っている団体です。早期の適切な介入により、小さくとも回復につながる確かな一歩になることを目標に活動し、無料電話相談や対面相談会なども支援しています。

36期は2020年4月1日に寄付を行いました。



## ■認定NPO法人 ワンダーポート 活動支援

「認定NPO法人 ワンダーポート」は、日本初のギャンブルに関して問題を抱えている人のための回復支援施設です。ギャンブル依存の原因は、個々の生活や生き方の中にあると考え、医療機関に解決方法を求めるのではなく、「暮らし・仕事・余暇」の使い方を包括的な視点で見つめ直し、個別的な生活支援を行っている団体です。

36期は2020年4月1日に寄付を行いました。





# 従業員と共に

## ダイバーシティ推進の方針

社員のキャリア志向とワーク・ライフ・バランスを共に尊重できる就業環境を整え、企業の更なる発展を目指す

2013年にダイバーシティ推進プロジェクト(現:ダイバーシティ推進委員会)を設立し、多様性を尊重しながら、一人ひとりが活躍できる組織作りを行っています。

### ■キャリア支援／ワーク・ライフ・バランス支援



従業員満足度調査として定期的に実施。



合格の際に受験料やお祝い金を支給。



年2回の考課時期に、今後のキャリア志向を確認する面談を実施。



取得者の事例を社内広報誌にて全社へ周知。リーフレットの全店配布。



公的制度、社内制度の紹介セミナーの実施。リーフレットの全店配布。



上位職が率先して取得している様子を社内広報誌にて紹介。

### ■女性活躍推進



下記から働き方を選べます。  
【1】通常勤務(母性健康管理措置の範囲内)  
【2】事務専門勤務



下記から働き方を選べます。  
【1】通常勤務 【2】事務中心勤務  
【3】本社管理部門への異動



上長および、人事部の担当者によるメンタルケア面談の実施。



中学校入学まで。2時間/日まで短縮可能。時差勤務制度との併用可能。



妊娠判明時には、職場の理解を深めるため該当者の上長にも配付。



2013年より実施。

### ■障がい者雇用

当社では2008年より「障がい者の職能と適性に応じた職場づくり」に取り組み続け、障がい者スタッフが安心して長く働き続けられる職場環境や仕組みの整備に努めています。店舗では駐車場の巡回や駐輪場の整理及び清掃を行っています。また、農園型雇用施設IBUKIではハーブを栽培しオリジナルブレンドティーに加工後、当社のノベルティとして配布しています。障がい者雇用の“多様化”を実現した取り組みです。





# 従業員と共に

## ■ホスピタリティコンテスト



ホスピタリティコンテストとは、従業員のホスピタリティ（おもてなしのマインドとスキル）を評価するガイア独自の接客コンテストです。

アルバイト部門、社員部門に分かれており、それぞれ店舗より1名ずつ代表が選ばれ、その後、営業部の予選会を勝ち進んだファイナリストが東京で行われる本選に出場し、そのホスピタリティを競い合います。

**第14回大会** 2019年11月19日、浅草橋ヒューリックホールにて  
第14回ホスピタリティコンテスト～Co.Co.Ro. 繋ぎ～を開催しました。

商標登録 第6119043号 ホスピタリティコンテスト®は株式会社ガイアの商標登録です。



## ■コンテストテーマと取り組み ～Co.Co.Ro. 繋ぎ～

株式会社ガイアは昭和59年の創業以来、激動の昭和、平成、令和を越えてきました。

その長い歴史の中で重きを置いてきたのが、ホスピタリティの心です。

ホスピタリティの心を日々の接遇の力に変えて、お客様のためにまた店舗の仲間のために陰日向なく発揮している店舗の社員・アルバイトを表彰する場がホスピタリティコンテストです。このホスピタリティの心をこれからもたくさんの人に繋げていきたいという思いを込めて、第14回大会のコンテストテーマをCo.Co.Ro. 繋ぎとしました。

Co.Co.Ro. 繋ぎにかけて、ラグビーボールを北海道から九州のすべての店舗をバスで繋げ、各店舗の思いやコンセプトを記しています。

※ラグビーボールは、最優秀賞受賞者へ授与しております。





# 地域と共に

## ■ビーチクリーン活動

当社は、地域社会貢献の一環として海岸周辺でゴミ拾い活動を行い、海岸の継続的な美化を目指しております。

36期は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止および参加者の健康と安全を考慮いたしまして、残念ながら開催中止とさせていただきます。



ビーチクリーン活動の支援等を行っている公益財団法人かながわ美財団に対しては、活動支援として電動手押し運搬具を寄贈しました。



## ■お菓子の寄贈

当社は全店舗に「お気持ち箱」を設置しています。お客様のご厚意により集められたお菓子は、定期的に全国の福祉施設へ直接お届けしています。

36期は、240施設へ915箱のお菓子を寄贈しました。



## ■被災地への支援

豪雨災害や地震に見舞われた地域に対して、日本赤十字社や該当地域の社会福祉法人等を通じ、寄付を行っています。



# 環境対策

## ■Fun to Share

当社は環境省が取り組んでいる低炭素社会に向けたキャンペーン「Fun to Share」に賛同し企業登録をしています。地球温暖化の一因とされている二酸化炭素の排出を削減するため、他企業と情報やアイデアをシェアしながら節電などに取り組んでいます。



## ■COOL BIZ / WARM BIZ

クールビズ期間中、エアコンの設定温度は28度を目安とし、社員・アルバイトスタッフともに軽装で勤務しています。ウォームビズ期間中は、加湿器やサーキュレーターによる空気循環などを行い暖房に頼りすぎず、冬を暖かく快適に勤務する工夫を行っています。



従業員啓発用ポスター（抜粋）

### ウォームビズ豆知識 ちょっとした工夫で実現できる“室温 20℃”の知恵

#### 部屋の温度を調節するちょっとした工夫

暖かい空気を  
循環させる

まずは部屋に  
温度計を!!

暖房のON/OFFの  
タイミングを考える

湿度15%UPで  
体感温度が1℃上昇

#### カラダを暖めるちょっとした工夫

ランチは  
体をあたためる  
食材を選ぶ

あったかい飲み物で  
ココロもボカボカ

デスクでできる  
血行促進体操

冷えと戦ってきた  
女性の知恵から学ぶ  
毛足の長い座布団

## ■デマンド装置

過度な電力使用にいち早く気づけるよう、デマンド装置による電気使用量の管理を行っています。電力の「見える化」は、消費電力の大幅削減に貢献しています。



## ■電気使用時間の管理

店舗では、遊技機・店内設備・エアコン・照明の電源を入れる時間、切る時間をマニュアル化しています。時間設定については全店共通ではなく、運営状況に合わせて1店舗ずつ異なる設定で運用することにより、効果的な使用電力削減に努めています。



## ■節電設備(LED)

店舗照明のLED化を積極的に行っています。現在、店内照明のLED化を終え、店外照明のLED化を推進しています。



## ■風力発電／太陽光発電

再生可能エネルギー電気を活用するため、メガガイア土山店の駐車場に10基の風力発電、メガガイア東大宮店及びメガガイア岩槻店には、大型店の特性を活かし店舗の屋根に太陽光発電を設置しています。



[http:// www.gaia-jp.com/](http://www.gaia-jp.com/)



お問い合わせ先



0120-924-582

(お客様専用窓口)